

山行報告



◆六甲山・地獄谷～ロックガーデン

- 日 時：6月17日（日）
- リーダー：砂川 参加者：21名
- コース：地獄谷～ピラーロック～風吹岩～阪急・岡本駅
六甲・地獄谷～ロックガーデン 佐藤

六甲地獄谷ボッカ&ロープ訓練 L：砂川 参加者 21名

場 所	着時刻	発時刻		内 容	
阪急芦屋川		9:05		待合わせ人多数	トイレ
滝の茶屋	9:30	9:35	休憩		トイレ
堰堤	9:40	9:55		ストレッチ &リュック計量	
#1滝	10:15	11:05		ロープ訓練	
カエル岩	11:15	11:25	休憩	カエル岩に挑戦	
#2滝	11:35	11:50		ロープ訓練	
ピラーロック	12:45	13:45		昼食、歩行訓練	
風吹岩	13:55			イノシシ出現	
保久良神社	14:35	14:45	休憩	ボッカ用水廃却	トイレ
阪急岡本	15:20			駅分かり難い	
三宮	15:35		解散	飲みに行く人、帰る人	

ボッカトレーニング (リュック重量 kg)	
今山	20
尾内	6
大瀬	14.5
河合	10
佐藤	7
砂川(延)	10
砂川(美)	6
利弘	15
中島	6.5
西村	11
船津	14
藤原	5
舛賀	16.5
松尾	7.5
松下	11
待場	11.2
山本	12.2
渡邊	13

4月の雪彦山行以来、久々の山行で体力に自信がなく不安を胸に集合場所の阪急芦屋川へ。昨年の7月にはこの同じ住宅街の坂道を息も切れぎれに黙々と歩いたことを思い出しながら、30分程で滝の茶屋に到着、ここで小休止。そこから高座の滝を右手に見ながら10分程歩いた所の広場でストレッチ、そして今日の山行目的である夏山に向けてのボッカ訓練の為、全員のザックの重さを計り記録する。



ちなみに私は7キロでしたが、夏山に行かれる方は20キロ以上もあり、さすがに意気込みが違います！

それから地獄谷へと入り、涼しげな水しぶきが落ちる滝の横を何箇所か登りその内の足場の危ない2ヶ所で、今日の2つ目の目的であるザイルワークの練習です。各自シュリングにカラビナを付け準備万端、滝の上では砂川会長と今山さんが確保して下さり一人ずつ登ったのですが、、、見るはやさし、登るはむずかし、でした。

『涼しげな 滝の水音聞きながら 岩登る背に 冷や汗ながれる』

全員無事に滝を登り終え、小便滝を過ぎると沢から一変景色が変わり足元が砂地で滑りやすく、岩に手を置くと土が落ちてきて怖かったです。それでも序々に展望が開け15分程でピラーロックに到着、各自思い思いの場所で昼食をとり、砂川会長の歩行訓練を受け、2時前には風吹岩を通り過ぎ保久良神社でトイレ休憩をして一路阪急岡本駅へ...

三の宮駅でビール組とコーヒー組に分かれ、おしゃべりに花を咲かせ今日の山行を締めくくりました。

楽しい山行を有難うございました。そしてお疲れさまでした。



六甲の緑眩しい山道を ボッカで歩く皆の列
想いは夏の槍ヶ岳かな

◆総会記念山行・日名倉山縦走

- 日 時：7月1日(日)
- リーダー：砂川 参加者：21名
- コース：志引峠～日名倉山～三の丸、二の丸～奥海越～雛倉神社～エーガイヤ千種

記念山行 日名倉山 志引峠～エーガイヤ千種 藤原

バスは20名を乗せ、7時半に高砂運動公園を出発。兵庫北部の予報は、曇り。きょうの日名倉山は、どんな天気になるのでしょうか。ちょっと心配です。バイパスを西に向かって進み、太子から29号線へ。林田で小谷さん合流です。千種を過ぎるあたりから、静かな道はうねうねと曲がり、かなり傾斜を増してきました。道の両側はスギやヒノキの林で、幹が並んで美しい。でも、うっそうとしています。そんな所をしばらく走っていましたが、突然明るくなり視界が開けました。かなり高度があるようで、山がたくさん見えます。バスはここで止まり、私達は1時間45分で志引峠に到着したようです。

行動記録

場 所	着	発	記 事
高砂運動公園		7:30	
道の駅ちくさ	8:45	8:55	休憩
志引峠	9:10	9:24	ストレッチ
日名倉山登山口	9:35		
日名倉山頂上	10:30	10:48	休憩
奥海越	11:25	12:03	昼食
雛倉神社	13:07		
エーガイヤ千種	13:25	14:35	入浴
JAグリーンハウス	14:40	15:00	買物
高砂運動公園	16:38		

登山準備をして出発しました。気持ちの良い下り坂を左に曲がると、平成10年春にオープンしたビジターセンターがあり、その裏から登山道が、程よい高さで階段状に整備され、



頂上まで続いています。すみれを沢山見かけ、花が咲いていたらきれいやなと思いつつ、ふと振り返るといつの間にか、下の方は真っ白で何も見えなくなっていました。

曇っているので結構涼しいのですが、大粒の汗が噴き出しては流れていきます。ススキの葉が茂る中を頂上へ向かいます。約1時間で1,047mの日名倉山に到着しました。毛虫の苦手な私にとっては、この道は広葉樹がほとんどなくスギやヒノキの植林で、安心して歩けました。

晴れていれば、ここからの眺めは絶景らしく、後山、駒の尾、三室、植松は指呼の間、瀬戸内の小豆島まで見えるらしいです。きょう見えるものは、白い雲だけ。残念です。休憩をしていると、ポツリポツリ、雨が降り出しました。急いで、今山さんが作ってこられた文字カードを手に持ち、記念写真です。それから舛賀さんから歩き方の注意を聞き、カップを着たり傘をさしたりして、下山にかかりました。



日名倉山山頂にて

少し急な所があり、地面が濡れているので滑らないように一歩ずつ慎重に歩きます。途中に、背より高いスキの葉の群落を通ったり、オレンジ色の山つつじや、はなみずきによく似た小ぶりの白い花を見たり・・・日常とは違う体験ができる、これが山へ出かける楽しみでもあります。二の丸、一の丸を通過し、奥海越まで下りてきました。ここで昼食です。大きな雨ではないので、木の下にいと濡れる

こともなくゆっくりできました。その時、私達とは逆コースの7~8人のパーティが通り、小雨の中を登っていきました。大変やなあとと思った人は私だけではなかったでしょう。その後、道が分かれて紛らわしい所が2ヶ所ありましたが、会長さんたちの適切な判断により難なくクリア。無事エーガイヤに到着しました。こじんまりしたお風呂に浸かり、リラックス。エーガイでした！

千種のコープに寄ってお土産を買い、またバスの中では「モズク」と「ちりめんじゃこ」の販売ありで、第7回総会記念山行は賑やかで、楽しいうちに終わりとなりました。



雑倉神社境内にて